



広島大学

# 教育課程論

# 教育

C U R R I C U L U M

# 課程

#5 教育課程の行政的側面, #6 カリキュラムと評価

南浦 涼介

なぜ、不動産広告には売り文句に「小学校の人気さ」が書かれているのだろうか？

実際その「人気」はどこまで学校の良さを表しているのだろうか？  
(ホントにそれはいい学校なのだろうか？)

人気 小学校区

小学校で人気があるのはここ！  
学区をどう選ぶか？

みなさんはそれぞれの学校，魅力的なのはどれですか？  
それぞれの学校の「良さ」「難しさ」は何でしょうか？

	A小学校	B小学校	C小学校	D小学校
地域の様子	<p><b>ニュータウンの小学校</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ニュータウンということもあり，地域には核家族が多く，30代～40代の会社員世代が多く住んでいる。</li> <li>PTA活動も行われているが，転入世代・勤労世代が多く，学校の活動を地域・保護者に周知してもらうことも課題である。</li> </ul>	<p><b>古い街の小学校</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>城下町の中心部に位置しており，周りには古くからの家が多数存在している。</li> <li>少子高齢化の波を受け，近年地域の高齢化，地域の空洞化の問題が浮上している。</li> <li>街と小学校は歴史の中で密接につながっており，地域の中の小学校と意識がある。</li> </ul>	<p><b>山間部の小学校</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山間部の学校である。学校の周辺は基本的に田園地帯と古くからの集落が広がる。</li> <li>少子高齢化，過疎化の波を受け，地域の高齢化や産業の高齢化が非常に進んでいる。</li> <li>過疎化しているが，地域が学校に寄せる期待は大きく，協力的。</li> </ul>	<p><b>市街地と公営団地</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>都市部にある小学校。校区内には県営・市営団地も立地し，経済的にそれほど豊かでない家庭が入居している場合もある。また，外国人家庭の姿も見える。</li> <li>特に団地内は近年高齢化・国際化しつつあるが，そうした家庭が学校に寄せる期待は大きい。</li> </ul>
学校の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニュータウンの中で転入生が非常に多い。</li> <li>割合収入の安定した家族が多く，子どもたちの教育に意識の高い保護者が多い。高学年になると子どもたちの多くが進学塾に通い始める。</li> <li>地域のつながりはあまりなく，学校と地域がいかに協力的な関係をつくるかが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元の小学校という感覚が強いため，子どもたちの教育についての意識も高い。</li> <li>学校と地域が密接に関わることもあって落ち着いた学校状況がある。</li> <li>地域の中心校ということもあり，新しいテーマを提案したり検討したりすることを行政から請け負うことも多</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校は複式学級制をとっており，全校で30名程度である。3・4年クラスは10名である。</li> <li>子どもたちは高校から家を出て一人暮らしをすることも多く，また，就職後県外に出ていくことも多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の国際化，経済格差，社会格差があり，子どもたちの教育に十分に力を注ぐことのできない家もある。</li> <li>子どもたちはとても元気で素直な気質を持つ子どもが多い。いろいろな子どもたちが混ざり合う良さを高学年になると感じることも。</li> <li>力量のある教員も多く，職員の団結力も高い。</li> </ul>

みなさんはそれぞれの学校，魅力的なのはどれですか？  
それぞれの学校の「良さ」「難しさ」は何でしょうか？

	A小学校	B小学校	C小学校	D小学校
地域の様子	<p>ニュータウンの小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ニュータウンということもあり，地域には核家族が多く，30代～40代の会社員世代が多く住んでいる。</li> <li>PTA活動も行われているが，転入世代・勤労世代が多く，学校の活動を地域・保護者に周知しても課題がある。</li> </ul>	<p>古い街の小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>城下町の中心部に位置しており，周りには古くからの家が多数存在している。</li> <li>少子高齢化の波を受け，近年地域の高齢化，地域の空洞化の問題が浮上している。</li> <li>街と小学校は歴史の中で密着しているが，課題がある。</li> </ul>	<p>山間部の小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山間部の学校である。学校の周辺は基本的に田園地帯と古くからの集落が広がる。</li> <li>少子高齢化，過疎化の波を受け，地域の高齢化や産業の高齢化が非常に進んでいる。</li> <li>過疎化しているが，地域が学校に期待している。</li> </ul>	<p>市街地と公営団地</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>都市部にある小学校。校区内には県営・市営団地も立地し，経済的にそれほど豊かでない家庭が同居している場合もある。また，外国人家庭の姿も見える。</li> <li>特に団地内は近年高齢化・国際化しつつあるが，課題がある。</li> </ul>

当然ながら学校にはそれぞれの地域事情がある  
その中で地域の様子も子どもや家庭の状況も異なってくる

仮 | 割合収入の安定した家族 | たちの教育についての | 程度である | 3・4年 | どもたちの教育に十分に

「公的な教育」が持つ「統一性と多様性」のジレンマ  
教育をする人も，教育を受ける人も，色々な人がいる。だからこそどうする？

**統一性を重視したい**

違い＝格差

格差は埋めていくべきもの  
すると多様な差異は認められにくい



**多様性を重視したい**

違い＝差異

差異は認めていくべきもの  
すると格差が生まれやすい

当然ながら学校にはそれぞれの地域事情がある  
その中で地域の様子も子どもや家庭の状況も異なってくる

### 統一性を重視したい

違い＝格差  
格差は埋めていくべきもの  
すると多様な差異は認められにくい



### 多様性を重視したい

違い＝差異  
差異は認めていくべきもの  
すると格差が生まれやすい

東広島市教育委員会 指導課 指導主事  
長野由知 先生

### 3 そもそも、私たちは何のために「評価」してるの？

「評価」ときいてイメージする感覚を  
「形容詞」一語で表すなら、何ですか？

どうして「冷たい」「厳格な」  
イメージがあるんだろう？

個人に対する評価にしても、学校組織に対する評価にしても…

### 「判定」としての評価

学び手や組織が  
どんな価値を持っているのか  
今はどんな状況かを知り  
判断して決定する

教師が、学び手を評価する  
外部が、教師や学校を評価する

### 「改善」としての評価

学び手や組織が  
どんな価値を持っているのか  
今はどんな状況かを知り  
次の手立てを考えるもの

教師が、教師を評価する  
教師や学校が、教師や学校を評価する

「人を伸ばす」「組織をよくする」  
ときには、どちらが重視されるべきだろう？

評価って、どのくらい厳密にするの？  
例えば「その教育課程を終えた」はどうやって決まるの？

### 履修主義

教育課程をその能力（や状況）に応じて一定年限の間履修すればよい

卒業要件は、一定年限の在学  
gradeは「在学年数」

経験主義との親和性  
社会性や人格の形成  
全面的な発達，ケア，社会的包摂  
共同体としての生活集団を軸とした場

①小中高校は  
履修主義だったか？ 修得主義だったか？

### 修得主義

教育課程を履修して，目標に関して一定の成果を上げることが必要

卒業要件は一定の課程の修了を要求  
Gradeは「教材習得の段階（等級）」

系統主義との親和性  
知識や技能の習得 知的発達  
能力向上，水準の保障  
機能的で学習集団を軸とした場

②大学は  
履修主義だろうか？ 修得主義だろうか？

③それぞれの場合，評価はどの程度厳密になるだろうか？

「評価」とは「判定」である  
 学び手や組織がどういう価値を持っているの  
 か今はどういう状況かを  
 何らかのかたちで示すもの

「評価」とは「改善」である  
 その人や組織がどういう価値を持っている  
 のか  
 今はどういう状況かを知り  
 次の手立てを考えるもの

## 履修主義

物語  
 有用性  
 公正性  
 対話性  
 応答責任

学び手が伸びるこ  
 とを大切に信じる  
 成長や、卒業後の  
 社会で生きていく  
 ことを重視して評  
 価する

学校が子どもを育  
 てていることを大  
 切にする  
 共同体としての成  
 長や地域との関わ  
 りの有りようをみ  
 える

学び手が伸びてい  
 くために、テスト  
 以外のさまざまな  
 形で学びを捉え、  
 それを頼りに声か  
 けや次時の改善を  
 図る

学び手の成長や学  
 校の共同体的な場  
 づくりを大切にす  
 るために、子ども  
 たちの様子を把握  
 したり交換する

## 個人評価

## 学校評価

## 個人評価

## 学校評価

## 修得主義

数値・尺度  
 厳密性  
 公平性  
 権威性  
 説明責任

目標にどのように  
 達成できたかを測  
 る

学校がどのように  
 学力を子どもたち  
 に育てているかを  
 見る

目標達成を確実に  
 するための中間評  
 価として役立つ

学校の学力向上を  
 確実にほかるため  
 に年度末のみなら  
 ず中間でも行う

履修主義と修得主義のどちらを重視したらいいのか？  
 なぜ、「修得主義」を私たちは無視できないのだろうか？

評価の中でせめぎあう問題、どんな葛藤をするのかを  
履修主義と修得主義の観点から説明しよう

①ある定時制高校の生徒は、卒業後就職することが多い。  
これまで学びにつまずきがちだったために授業に出ないこともある。  
そのままでは出席日数が足りないし、卒業もできないのだが  
教員たちは「成績を与える」という判断をした。これは認められるか？

②外国につながる子どもたちは、日本語がわからない中で、たとえ認知  
や思考ができててもそれを日本語で表現できないゆえにテストの点が取れ  
ない。みんなと同じに厳格にテストの点を評価に入れるべきか？

### 履修主義

経験主義との親和性  
社会性や人格の形成  
全面的な発達，ケア，社会的包摂  
共同体としての生活集団を軸とした場

### 修得主義

系統主義との親和性  
知識や技能の習得 知的発達  
能力向上，水準の保障  
機能的で学習集団を軸とした場

← 有用な評価

→ 厳密な評価

「評価」とは「判定」である  
学び手や組織がどういう価値を持っているのか  
今はどういう状況かを  
何らかのかたちで示すもの

「評価」とは「改善」である  
その人や組織がどういう価値を持っているのか  
今はどういう状況かを  
知り  
次の手立てを考えるもの

## 履修主義

- 物語
- 有用性
- 公正性
- 対話性
- 応答責任

学び手が伸びることを大切に信じる  
成長や、卒業後の社会で生きていくことを重視して評価する

学校が子どもを育てていることを大切に  
共同体として  
成長や地域との有り  
る

学び手が伸びていくために、テスト

学び手の成長や学校の共同体的な場

目の前の具体的な相手・組織をもっとよく伸ばしていくために考える

血の通った評価

具体的な人や場に対する応答責任

## 個人評価

## 学校評価

## 個人評価

## 学校評価

## 修得主義

- 数値・尺度
- 厳密性
- 公平性
- 権威性
- 説明責任

目標にどのように達成できたかを測る

学校がどのように学力を子どもたちに育てているかを

目標達成を確実にするための中間評価として役立つ

学校の学力向上を確実に高めるために年度末のみならず中間でも行う

冷徹な評価

顔の見えない誰かにきちんと示すことを考えがち

匿名の他者に対する説明責任

1945年  
以前

絶対評価（戦前型）

教師の裁量にもとづく判断

メリット

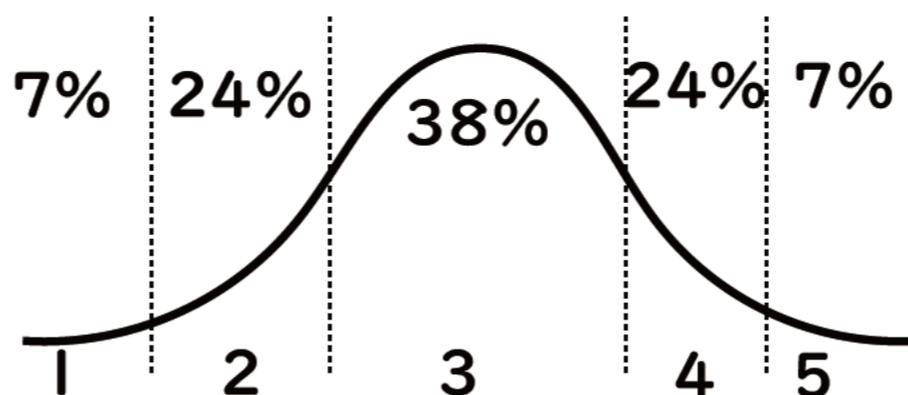
目の前の子どもに対して行う。教師の専門的感覚

デメリット

教師の好悪、忠誠主義が横行することにもなった

2000年  
ごろまで

相対評価



メリット

教師の好悪などが介在しない

デメリット

頑張ってもみんなが頑張れば評価されない  
学校やクラスが異なれば位置が変わることも  
競争主義の横行

# 情報 何で引き上げる？ 評価って何だ？

2000年以降

絶対評価（目標準拠型）

目標にもとづいて、絶対評価をする

例) パフォーマンスをルーブリックで評価する方法

## 評価規準（評価の観点）

	①概念を用いているか？	②具体的事例を伴っているか？	③自分の意見を提示できているか？
<b>A</b>	履修主義・修得主義という概念を用いて、事例の是非を概念を対比させて検討し、その検討も緻密である。	教育関係者にインタビューをして、その人の考えを批判的に捉え、①の観点から意味や是非を検討している	①②をふまえて自分の意見を提示している。またその意見は社会状況を捉えてあるべき方向性を示している。
<b>B</b>	履修主義・修得主義という概念を用いて事例を検討することができている。	教育関係者にインタビューをして、その人の判断を例にして①を検討している。	①②をふまえて自分の意見を提示しているが、社会的状況との関連付けが弱い。
<b>C</b>	履修主義・修得主義という概念が適切に用いられていない、あるいは言及がされていない	インタビューが概念と関連付けて検討されない。あるいはインタビューがされていない	自分の意見が出ているが、妥当性が低い。また、社会状況との関連付けがない。

評価基準（評価の水準）

みなさんは「観点」と「水準」どちらを気にします？

どっちを重視すべき？

メリット

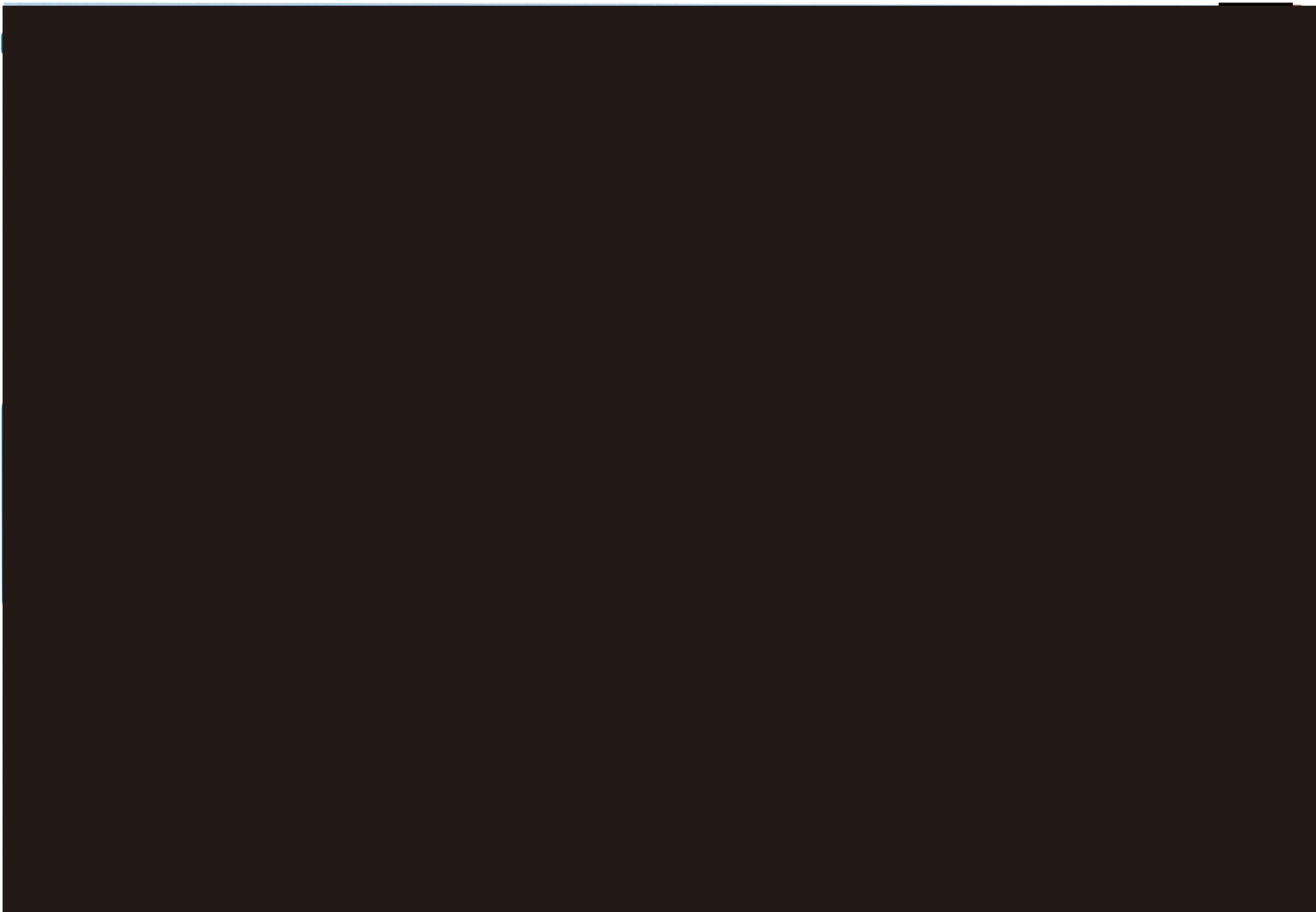
教師の専門的感覚を残して、かつ妥当な形をつくれる

デメリット

「水準」と「客観性」ばかりを気にしすぎて緻密になりすぎる

# 4

## 改めて学校評価を考えてみよう



# 4 改めて学校評価を考えてみよう

個人の評価に比べて、学校の評価にはとても「数値」が目立つ！  
これはなぜなのだろうか？

行政が学校を評価するのは何のため？

統一性を貫くための冷徹な評価？  
多様性を大切にするための血の通った評価？

# 4 改めて学校評価を考えてみよう

なぜ、不動産広告には売り文句に「小学校の人気さ」が書かれているのだろうか？

実際その「人気」はどこまで学校の良さを表しているのだろうか？  
(ホントにそれはいい学校なのだろうか？)

「学校の人気」(学校の評判・評価)は、本来  
誰が、何のために、どのようにしてつくっていくべきだろうか？  
教育行政はどのようにそれを支えればいいのか？

命題⑨ 学校には多様な地域がある。ニュータウン、古い町、山間部、工場町、それぞれにはそれぞれの特徴と良さ、課題がある。その中で学校カリキュラムを作っている。（これをカリキュラムマネジメントという）

命題⑩ 教育行政は学校のカリキュラムを陰で支える存在である。統一性と多様性の間でさまざまな試みをしている。教育行政が地域の多様な学校の統一性を作るために、学校の評価もなされている。

命題⑪ 評価には、「判定」「改善」「履修主義」「修得主義」などの考え方があり、重視している方向で厳密性をとるか有用性をとるかは変わる。近年は「絶対評価」の中で教師の専門的な目線を大切にする傾向があり、それをルーブリックなどの発想で保証する。ただし、それを「水準」重視で厳密さを気にしすぎるのには注意が必要。相手を信じ、血の通った評価をする大切さ。

命題⑫ 個人の評価に比べて、学校などの組織の評価は数値的客観性に拠ることが多い。これは、世間やさらに上の組織を気にする説明責任感覚のためだが、これに重きを置きすぎると、学校も教師も、保護者も子どもも疲弊する。いずれの立場であっても、「評価」をなんのためにどのような塩梅で使うかへの視点は重要となる。